

矯正歯科学

講 師	渡 邊 悦 子	実施時期 単 位 数	第 2 学年後期 1 単位 （20 時間）	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生業務を行うために必要な不正咬合の症状および治療法を理解する。				
授 業 概 要	不正咬合による障害と矯正治療の意義を理解させ、矯正器具の管理やブラッシング指導などの患者管理についての知識を授ける。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	定期試験(筆記試験) 100%				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ「歯科矯正学」 第2版 医歯薬出版				
履修上の注意	歯科矯正における歯科衛生士の役割を理解してほしい。				
参 考 書					
教員の職務経験 (科目との関連性)	大学病院での長年の勤務経験があり、また歯科医師・矯正歯科認定医として矯正歯科診療に従事している。矯正歯科治療の流れ・矯正歯科における歯科衛生士の役割等を教え、多様なニーズに答えられる歯科衛生士を育成する。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	矯正歯科治療の概要	矯正歯科治療について説明できる。
2	成長・発育	顔面および歯・歯列の成長発育とその評価を説明できる。成長発育に伴う正常咬合(乳歯列から永久歯列)を説明できる。
3	正常咬合と不正咬合	不正咬合の原因と種類を列挙できる。
4	矯正歯科診断	不正咬合による障害と矯正治療の目的を説明できる。
5	矯正歯科治療と“力”	矯正力と歯の移動時の生体反応を説明できる。
6	矯正治療	矯正装置の種類、構造および機能を説明できる。
7	矯正歯科治療の実際(1)	矯正治療に用いる器材とその取り扱いを説明できる。
8	矯正歯科治療の実際(2)	矯正治療に用いる器材とその取り扱いを説明できる。
9	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割(1)	矯正治療前、治療中および保定期間における口腔衛生管理法を説明できる。
10	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割(2)	矯正治療前、治療中および保定期間における口腔衛生管理法を説明できる。